

1. 融点                      2. 露点                      3. 冰点                      4. 沸点

1. 中心の記号から西南西の方向に線を1本引き、その線に羽を2本描き入れる。

1. 気温が下がるほど、空気中の水蒸気が互いに結合して体積が増加するため。

2. 気温が下がるほど、飽和水蒸気量が増加し、湿度の計算上の分母が大きくなるため。

3. 気温が下がるほど、空気が保持できる最大の水蒸気量である飽和水蒸気量が減少するため。

4. 気温が下がることで、空気そのものが水蒸気に変化し、全体の水分量が増えるため。

1. 18°C                      2. 17°C                      3. 15°C                      4. 16°C

1. 下降氣流                      2. 上昇氣流                      3. 季節風                      4. 轉向力

1. 膨張によって温度が上がり、沸点に達して水滴が水蒸気になる。      2. 収縮によって温度が上がり、沸点に達して水滴が水蒸気になる。      3. 収縮によって温度が下がり、露点に達して水蒸気水滴になる。      4. 膨張によって温度が下がり、露点に達して水蒸気水滴になる。

1. シベリア気団が勢力を強め、日本列島を広く覆ったため

2. 停滞前線が観測地点の上空に長時間留まったため

3. 発達した高気圧が観測地点のすぐ近くを通過したため

4. 台風が中心が観測地点の付近を通過していったため

1. そのときの室内の空気の沸点      2. 容器に入っている水の融点      3. そのときの室内の空気の露点      4. 試験管の中に入っている氷の昇華点

1. 下降気流によって空気が膨張すると温度が下がり、空気中の水蒸気が水滴になりにくくなるため。

2. 下降気流によって空気が圧縮されると温度が上がり、空気中の水蒸気が水滴になりにくくなるため。

3. 上昇気流によって空気が膨張すると温度が上がり、空気中の水蒸気が水滴になりにくくなるため。

4. 上昇気流によって空気が圧縮されると温度が下がり、空気中の水蒸気が水滴になりにくくなるため。

1. 蒸発                      2. 凝結                      3. 沸騰                      4. 融解

1. 穏やかな上昇気流によって乱層雲が広がり、広い範囲に長時間にわたって雨を降らせる。

2. 中層で高積雲が斑点状に広がり、その後数日間は晴天が続く。

3. 強い上昇気流によって積乱雲が発達し、狭い範囲に短時間で強い雨をもたらす。

4. 上空の高いところで巻雲が広がり、天気がゆっくりと下り坂に向かう。

1. 寒冷前線と温暖前線が同じ速度で並行して移動し、勢力を維持する
2. 移動速度の速い温暖前線が寒冷前線に追いつき、停滞前線ができる
3. 移動速度の速い寒冷前線が温暖前線に追いつき、閉塞前線ができる
4. 寒冷前線の移動速度が遅いため、温暖前線との距離がしだいに広がる

1. 凝結量                      2. 露点                      3. 蒸散量                      4. 飽和水蒸氣量

1. 水が氷へと変化し始める温度（凝固点）      2. その時の気温における飽和水蒸気量に達したときの温度（露点）      3. 空気中の湿度が0%になる温度      4. コップ内の水がすべて水蒸気になる温度（沸点）